

認 定 書

国住参建第 2373 号

令和 3 年 12 月 6 日

株式会社日本アクア
代表取締役 中村 文隆 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PC030BE-2656-1(1)
2. 認定をした構造方法等の名称
吹付け硬質ウレタンフォーム充てん／軽量セメントモルタル塗・構造用面材
[木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード]
表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

別 添

1. 構造名：

吹付け硬質ウレタンフォーム充てん／軽量セメントモルタル塗・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード〕表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁

2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項 目	仕 様
壁の高さ	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法
壁厚	121mm以上
たて枠間隔	500mm以下

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項 目	仕 様
たて枠(荷重支持部材)	材料：平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁のたて枠材 寸法：38×89mm以上
上枠、下枠	材料：平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁の上枠材及び下枠材 寸法：38×89mm以上
断熱材	材料：①又は② ①吹付け硬質ウレタンフォーム 組成(質量%)： ポリイソシアネート ポリエーテルポリオール 難燃剤(りん酸エステル) 添加剤(触媒、整泡剤等) 水 イソシアネート指数： 密度：14(-2)～25(+2)kg/m ³ ②吹付け硬質ウレタンフォーム 組成(質量%)： ポリイソシアネート ポリエーテル系ポリオール 難燃剤(りん酸エステル) 添加剤(触媒、整泡剤等) 水 イソシアネート指数： 密度：10(-1)～25(+2)kg/m ³ 厚さ：55(-6)～150(+15)mm

Trade Secret

つづく

つづき

外装材	構成：(1)及び(2) (1)軽量セメントモルタル 組成(質量%)：①、②又は③ ①セメント 45.0～51.0 無機質混和材料 45.0～55.0 無機質軽量骨材 0.0～24.0 無機質骨材 0.0～27.7 無機質混和材 10.4～40.0 無機質少量添加剤 0.0～ 6.0 有機質混和材料 0.1～10.0 有機質骨材 0.0～ 7.6 有機質少量添加剤 0.1～ 4.5 有機質繊維 0.0～ 0.5 ②セメント 45.0～55.0 無機質混和材料 44.0～52.5 無機質軽量骨材 0.0～24.0 無機質骨材 25.0～45.0 無機質混和材 0.0～15.0 無機質少量添加剤 0.0～ 7.5 有機質混和材料 1.0～ 4.5 有機質骨材 0.5～ 4.5 有機質少量添加剤 0.1～ 0.5 有機質繊維 0.0～ 0.5 ③セメント 45.0～46.0 無機質混和材料 52.0～53.5 無機質軽量骨材 37.0～44.0 無機質骨材 0.0～15.0 無機質混和材 0.0～12.0 有機質混和材料 1.2～ 2.5 有機質骨材 1.0～ 2.5 有機質少量添加剤 0.1～ 0.5 有機質繊維 0.1～ 0.5 但し、 セメント： ポルトランドセメント(JIS R 5210)の種類の内、次のもの 普通ポルトランドセメント、早強ポルトランドセメント、中庸熱ポルトランドセメント、低熱ポルトランドセメント
-----	--

つづく

つづき

外装材	高炉セメントB種(JIS R 5211) フライアッシュセメントB種(JIS R 5213) エコセメント(JIS R 5214) 白色セメント 化学成分(質量%)※： <table border="0"> <tr><td>酸化マグネシウム</td><td>5.0以下</td></tr> <tr><td>三酸化硫黄</td><td>3.0以下</td></tr> <tr><td>強熱減量</td><td>3.0以下</td></tr> <tr><td>全アルカリ</td><td>0.75以下</td></tr> <tr><td>酸化物イオン</td><td>0.035以下</td></tr> </table> 超速硬セメント 化学成分(質量%)※： <table border="0"> <tr><td>酸化マグネシウム</td><td>4.0以下</td></tr> <tr><td>三酸化硫黄</td><td>13.0以下</td></tr> <tr><td>強熱減量</td><td>3.0以下</td></tr> </table> アルミナセメント 化学成分(質量%)※： <table border="0"> <tr><td>酸化アルミニウム</td><td>50.0以上</td></tr> <tr><td>三酸化鉄</td><td>2.5以下</td></tr> <tr><td>酸化カルシウム</td><td>40.0以下</td></tr> </table> ※残りの化学成分はクリンカー及びせつこう 無機質軽量骨材：けい酸質岩石の粉砕物、焼成発泡物(パーライト、凝灰岩系松脂岩、シラス発泡粒) 無機質骨材：けい砂、石灰砂、ガラス粒、ガラス発泡粒、金属 無機質混和材：炭酸カルシウム、消石灰、高炉スラグ、フライアッシュ、粘土鉱物、ドロマイトプラスター、水酸化アルミニウム 無機質少量添加剤：膨張剤(無水石膏、エトリンガイト系、石灰系)、ガラス(粉末・繊維) 有機質骨材：エチレン酢酸ビニル発泡粒、エチレン酢酸ビニル・炭酸カルシウム発泡粒、ポリスチレン発泡粒、塩化ビニル発泡粒、ポリエチレン発泡粒、ポリウレタン発泡粒、ポリプロピレン発泡粒、ゴム粉砕品、バフ粉 有機質少量添加剤：増粘剤(セルロース系)、保水剤(エチレン酢酸ビニル粉末樹脂、アクリル系樹脂) 有機質繊維：ポリエチレン、アクリル、ビニロン、ポリプロピレン、ポリエステル、ナイロン、アラミド、セルロース、パルプ、麻、羊毛 塗厚さ：15mm 以上 密度：1)又は2) 1)直張仕様：0.9(±0.1)g/cm³ 以上(気乾) 2)通気仕様：1.1(±0.1)g/cm³ 以上(気乾) (2)補強材(あり又はなし) 材料：耐アルカリ性グラスファイバーネット 厚さ：0.3mm 以上 質量：130g/m² 以上 メッシュ間隔：4×4～10×10mm	酸化マグネシウム	5.0以下	三酸化硫黄	3.0以下	強熱減量	3.0以下	全アルカリ	0.75以下	酸化物イオン	0.035以下	酸化マグネシウム	4.0以下	三酸化硫黄	13.0以下	強熱減量	3.0以下	酸化アルミニウム	50.0以上	三酸化鉄	2.5以下	酸化カルシウム	40.0以下
酸化マグネシウム	5.0以下																						
三酸化硫黄	3.0以下																						
強熱減量	3.0以下																						
全アルカリ	0.75以下																						
酸化物イオン	0.035以下																						
酸化マグネシウム	4.0以下																						
三酸化硫黄	13.0以下																						
強熱減量	3.0以下																						
酸化アルミニウム	50.0以上																						
三酸化鉄	2.5以下																						
酸化カルシウム	40.0以下																						

つづく

つづき

下張材 (下地材)	仕様：なし
構造用面材	仕様：(1)～(4)の一
(1)木質 系ボー ド	材料：①～⑥の一 ①構造用合板(日本農林規格に適合するもの、全層すぎを除く) 厚さ：7.5mm以上 ②構造用パネル(日本農林規格に適合するもの) 厚さ：9mm以上 ③パーティクルボード(JIS A 5908) 厚さ：9mm以上 ④構造用MDF(JIS A 5905) 厚さ：9mm以上 ⑤シーリングボード(JIS A 5905) 厚さ：12mm以上 密度：0.33～0.42g/cm ³ ⑥製材(日本農林規格に適合するもの) 厚さ：9mm以上
(2)セメ ント板	材料：①～⑪の一 ①硬質木毛セメント板(JIS A 5404) 厚さ：15mm以上 ②硬質木片セメント板(JIS A 5404) 厚さ：12mm以上 ③パルプセメント板(JIS A 5414) 厚さ：9mm以上 ④フレキシブル板(JIS A 5430) 厚さ：8mm以上 ⑤けい酸カルシウム板(JIS A 5430) 厚さ：8mm以上 ⑥パルプ混入けい酸カルシウム板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-2601) 厚さ：9mm以上 ⑦繊維強化セメント板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8576) 厚さ：7.5mm以上 ⑧繊維混入けい酸カルシウム板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8578) 厚さ：7.5mm以上 ⑨両面アクリル系樹脂塗装パルプ・けい酸質混入セメント板 (国土交通大臣認定準不燃材料：QM-0457) 厚さ：9mm以上 ⑩パルプ・けい酸カルシウム混入セメント板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-0592) 厚さ：9mm以上 ⑪両面ポリ塩化ビニル被膜ガラス繊維ネット張セメントモルタル板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-0711) 厚さ：11.5mm以上
(3)火山 性ガラス 質複層板	材料：火山性ガラス質複層板(JIS A 5440) 厚さ：9mm以上

つづく

つづき

構造用面材	(4)せっこうボード	材料：①～⑤のー ①せっこうボード(JIS A 6901) 厚さ：12.5mm 以上 ②強化せっこうボード(JIS A 6901) 厚さ：12.5mm 以上 ③両面ボード用原紙張せっこう板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-4127) 厚さ：9.5 mm 以上 ④ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板 (国土交通大臣認定準不燃材料：QM-0954-1) 厚さ：9.5mm ⑤ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板 (国土交通大臣認定準不燃材料：QM-0955-1) 厚さ：9.5mm 以上
内装材		材料：①又は② ①せっこうボード(JIS A 6901) 厚さ：9.5mm 以上 ②強化せっこうボード(JIS A 6901) 厚さ：12.5mm 以上

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項 目	仕 様
胴縁	仕様：(1)又は(2) (1)なし(直張仕様) (2)あり 材料：①～④の一 ①日本農林規格に適合する製材、集成材、単板積層材、枠組壁工法用製材、枠組壁工法用たて継ぎ材 ②平成12年建設省告示第1452号第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材 ③日本農林規格に適合する合板又は構造用パネル ④ミディアムデンシティファイバーボード(JIS A 5905) 寸法：9×27mm以上 取付間隔：500mm以下
補助胴縁 (胴縁を用いる場合)	仕様：あり又はなし 材料：①～⑤の一 ①日本農林規格に適合する製材、集成材、単板積層材、枠組壁工法用製材、枠組壁工法用たて継ぎ材 ②平成12年建設省告示第1452号第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材 ③日本農林規格に適合する合板又は構造用パネル ④ミディアムデンシティファイバーボード(JIS A 5905) ⑤合成樹脂 材質：1)～6)の一 1)塩化ビニル樹脂 2)アクリロニトリルブタジエンスチレン樹脂(ABS樹脂) 3)発泡ポリスチレン樹脂 4)ポリスチレン樹脂 5)エチレンプロピレンゴム(EPDM) 6)ポリエチレン樹脂 寸法：10×9mm以上(但し、⑤においては外形寸法とし、肉厚1mm以上とする) 取付間隔：500mm以下
鉄網	材料：①～⑦の一 ①メタルラス防錆処理品(JIS A 5505) 単位面積質量：500g/m ² 以上 ②鉄網防錆処理品 網材質：1)～3)の一、又は組合せ 1)鉄線(JIS G 3532) 2)亜鉛めっき鉄網(JIS G 3547) 3)溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) 単位面積質量：500g/m ² 以上 網目寸法：20×35(±2)mm以下

つづく

つづき

鉄網	③ステンレスラス 網材質：1)～3)の一、又は組合せ 1) ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2) 熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4304) 3) 冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4305) 単位面積質量：500g/m²以上 網目寸法：39×51(±2)mm 以下 ④焼付塗装型鉄網 鋼材質：1)～3)の一、又は組合せ 1) 鉄線(JIS G 3532) 2) 亜鉛めっき鉄線(JIS G 3547) 3) メタルラス防錆処理品(JIS A 5505) 単位面積質量：500g/m²以上 網目寸法：20×35(±2)mm 以下 プライマー 材料：エポキシ樹脂系 塗布量：60g/m² 以下 塗料 材料：アクリル樹脂系 塗布量：20g/m² 以下 ⑤塗膜鉄網 鋼材質：④焼付塗装型鉄網と同じ 単位面積質量：500g/m² 以上 網目寸法：20×35(±2)mm 以下 塗膜材 材質：1)～5)の一 1) ウレタンゴム系 2) アクリルゴム系 3) ゴムアスファルト系 4) クロロプレンゴム系 5) FRP 系 塗膜量：400g/m² 以下(有機量：260g/m² 以下) ⑥防水紙付鉄網(防錆処理品) 鋼材質：④焼付塗装型鉄網と同じ 単位面積質量：700g/m² 以上 網目寸法：39×51(±2)mm 以下 防水紙 材質：1)～9)の一 1) クラフト紙(JIS P 3401) 2) ターポリン紙(2枚のクラフト紙の間にアスファルトを充てんした防水紙) 3) ポリミック紙(2枚のクラフト紙の間にポリエチレン樹脂又はポリプロピレン樹脂を充てんした防水紙) 1)、2)又は3)の単位面積質量：150g/m²以下 4) ポリエチレンシート 種類：a)、b)又はc) a) 住宅用プラスチック系防湿フィルム(JIS A 6930) b) 包装用ポリエチレンフィルム(JIS Z 1702) c) 農業用ポリエチレンフィルム(JIS K 6781)
----	--

つづく

つづき

鉄網	5) オレフィンシート 6) オレフィンシート+高分子吸収体(吸水ポリマー、メチルセルロース) 7) 透湿防水シート(JIS A 6111) 材質: a)、b) 又は c) a) ポリエチレン b) ポリエステル c) ポリプロピレン 8) ポリプロピレン不織布/ポリエチレンフィルム/ポリエステル不織布 4)~8) の単位面積質量: 400g/m² 以下 9) アスファルトフェルト(JIS A 6005) 単位面積質量の呼び: 860 以下(1 枚張又は 2 枚張) ⑦ 防水紙付ステンレスラス 鋼材質: ③ ステンレスラスと同じ 単位面積質量: 700g/m² 以上 網目寸法: 39×51(±2)mm 以下 防水紙 材質: ⑥ 防水紙付鉄網(防錆処理品)と同じ 結束材 材料: 1)、2) 又は 3) 1) なし 2) 結束金具 3) 結束線 2) 又は 3) の材質: a)、b) 又は c)、又は組合せ a) 鉄線(JIS G 3532) b) 亜鉛めっき鉄線(JIS G 3547) c) ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2) 又は 3) の寸法: 線の断面積 0.2mm² 以上 防水材及び塗膜防水材を合わせた総有機質量: 860g/m² 以下
防水材	仕様: あり又はなし 材料: ①~⑪の一 ① アスファルトフェルト(JIS A 6005) 単位面積質量の呼び: 860 以下(1 枚張又は 2 枚張) ② プラスチックシート 材質: 1)~7) の一 1) 飽和ポリエステル 2) ポリプロピレン 3) ポリエステル 4) ポリ塩化ビニル 5) ABS 樹脂 6) ポリエチレン 7) ポリスチレン ③ オレフィンシート ④ オレフィンシート+高分子吸収体(吸水ポリマー、メチルセルロース)

つづく

つづき

防水材	⑤透湿防水シート(JIS A 6111) 材質：1)、2)又は3) 1)ポリエチレン 2)ポリエステル 3)ポリプロピレン ⑥ポリプロピレン不織布／ポリエチレンフィルム／ポリエステル不織布 ⑦ポリエステルフィルム／改質アスファルト／ポリエステル不織布 ⑧原紙(アスファルト含浸)／改質アスファルト／改質アスファルト含浸ポリエステル不織布／着色塗料 ⑨ビニロン+ポリプロピレン不織布 ②～⑨の単位面積質量：800g/m²以下(1枚張又は2枚張) ⑩ポリエチレンフォームシート 単位面積質量：444g/m²以下 ⑪防水通気シート 材質：1)～8)の一 1)飽和ポリエステル 2)ポリプロピレン 3)ポリエステル 4)ポリ塩化ビニル 5)ABS樹脂 6)ポリエチレン 7)ポリスチレン 8)ポリプロピレン・ポリエチレン共重合体 単位面積質量：860g/m²以下(1枚張又は2枚張) 通気層高さ：18mm以下 ②～⑪の目地材 材料：1)、2)又は3) 1)気密テープ 材質：a)～d)の一 a)アクリル系 b)EPDM ゴム系 c)ブチルゴム系 d)アスファルト系 厚さ：1.0mm以下、幅：100mm以下 2)グラスファイバーテープ 厚さ：0.5mm以下、幅：100mm以下 3)なし 鉄網及び塗膜防水材を合わせた総有機質量：860g/m²以下
塗膜防水材	仕様：あり又はなし 材料：①～⑤の一 ①ウレタンゴム系 ②アクリルゴム系 ③ゴムアスファルト系 ④クロロプレンゴム系 ⑤FRP系 塗膜量：800g/m²以下 有機質量：520g/m²以下 鉄網及び防水材を合わせた総有機質量：860g/m²以下

つづく

つづき

防湿材	仕様：あり又はなし 材料：①～⑥の一 ①住宅用プラスチック系防湿フィルム(JIS A 6930) 材質：ポリエチレン ②包装用ポリエチレンフィルム(JIS Z 1702) ③農業用ポリエチレンフィルム(JIS K 6781) ④アルミニウム蒸着ポリエチレン ⑤ポリプロピレン ⑥アルミニウム蒸着ポリプロピレン 厚さ：0.2(+0.02)mm以下 単位面積質量：192g/m ² 以下
受材	構造用面材目地部： 仕様：あり又はなし 材料：①～③の一 ①日本農林規格に適合する製材、集成材、単板積層材又は枠組壁工法用製材又はたて継ぎ材 ②日本農林規格に適合する合板又は構造用パネル ③平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁の枠材 寸法：30×40mm以上
	内装材目地部： 材料：①～④の一 ①日本農林規格に適合する製材、集成材、単板積層材又は枠組壁工法用製材又はたて継ぎ材 ②日本農林規格に適合する合板又は構造用パネル ③平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁の枠材 ④なし(横目地がない場合) 寸法：30×40mm以上

つづく

つづき

留付材	構造用面材固定用： 材料：①～⑤の一 ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N38以上 ②太め鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：CN50以上 ③シージングボード用くぎ(JIS A 5508) 寸法：SN40以上 ④ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：φ2.5×長さ30mm以上 ⑤せっこうボード用くぎ(JIS A 5508) 寸法：GN40以上 留付間隔：周辺部333mm以下、中間部333mm以下
	内装材固定用： 材料：①又は② ①せっこうボード用くぎ(JIS A 5508) 寸法：GN40以上 ②ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：φ2.5×長さ32mm以上 留付間隔：周辺部150mm以下、中間部200mm以下
	胴縁固定用(胴縁を用いる場合)： 材料：①、②又は③ ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N38以上 ②太め鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：CN50以上 ③ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：φ2.5×長さ25mm以上 留付間隔：500mm以下
	補助胴縁固定用(補助胴縁を用いる場合)： 材料：①、②又は③ ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N19以上 ②ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：φ2.4×長さ20mm以上 ①又は②の留付間隔：2000mm以下 ③両面粘着テープ 材質：1)又は2) 1)合成ゴム系樹脂 2)アクリル系樹脂 幅：20mm以下 厚さ：1.0mm以下

つづく

つづき

留付材	受材固定用(受材を用いる場合)： 材料：①、②又は③ ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N50以上 ②太め鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：CN50以上 ③ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：φ2.5×長さ25mm以上 留付本数：2本以上/1箇所(たて枠に留付け)
	鉄網固定用： 材料：ステープル 材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)鉄線(JIS G 3532) 寸法：①又は② ①幅7mm以上、足長16mm以上 ②幅6mm以上、足長19mm以上 留付間隔：鉛直方向150mm以下、水平方向500mm以下
	防水材・防湿材固定用(防水材・防湿材を用いる場合)： 材料：ステープル 材質：1)又は2) 1)鉄線(JIS G 3532) 2)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 寸法：幅9.6mm以上、足長6mm以上 留付間隔：500mm以下
内装材用目地処理材	仕様：あり又はなし 材料：①、又は①及び② ①せっこうボード用目地処理材(JIS A 6914) 使用量：100g/m 以上 ②ジョイントテープ 材質：1)又は2) 1)ガラス繊維 2)紙 厚さ：0.5mm 以上 幅：20mm 以上

5. 仕様の構造説明図：

仕様の構造説明図を図1～図4に示す。

図中の単位については、特記のない限りmmとする。

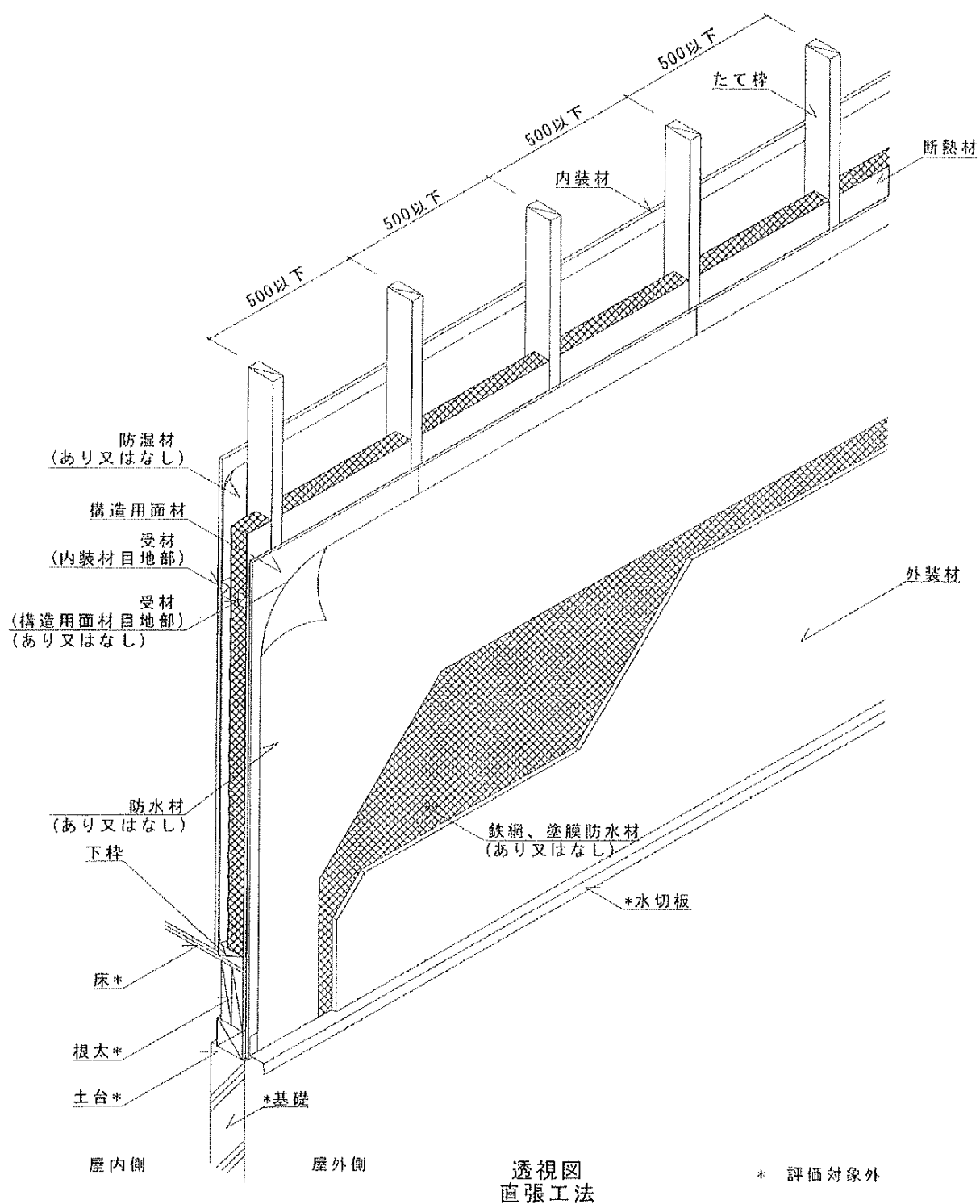


図1 構造説明図

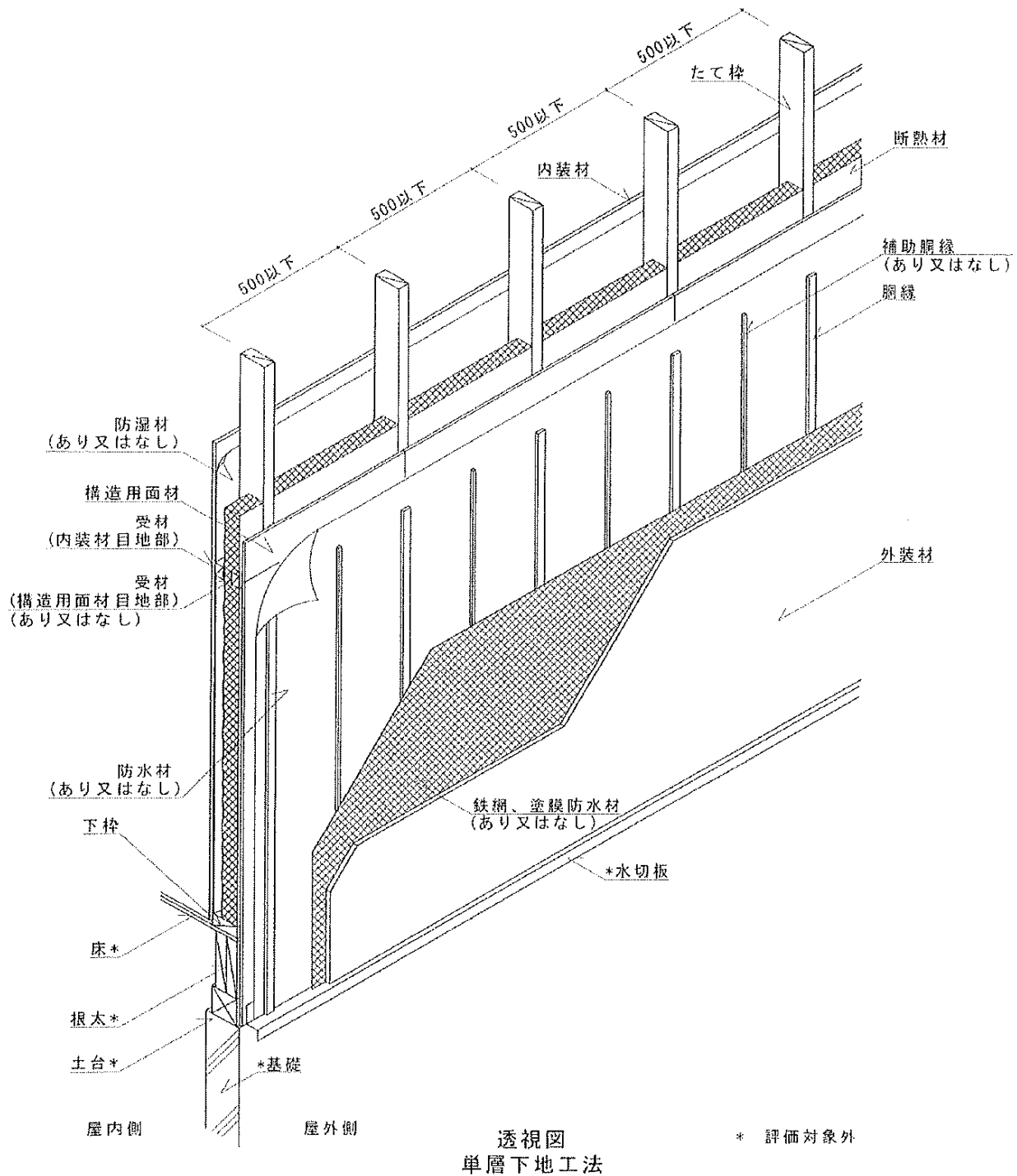
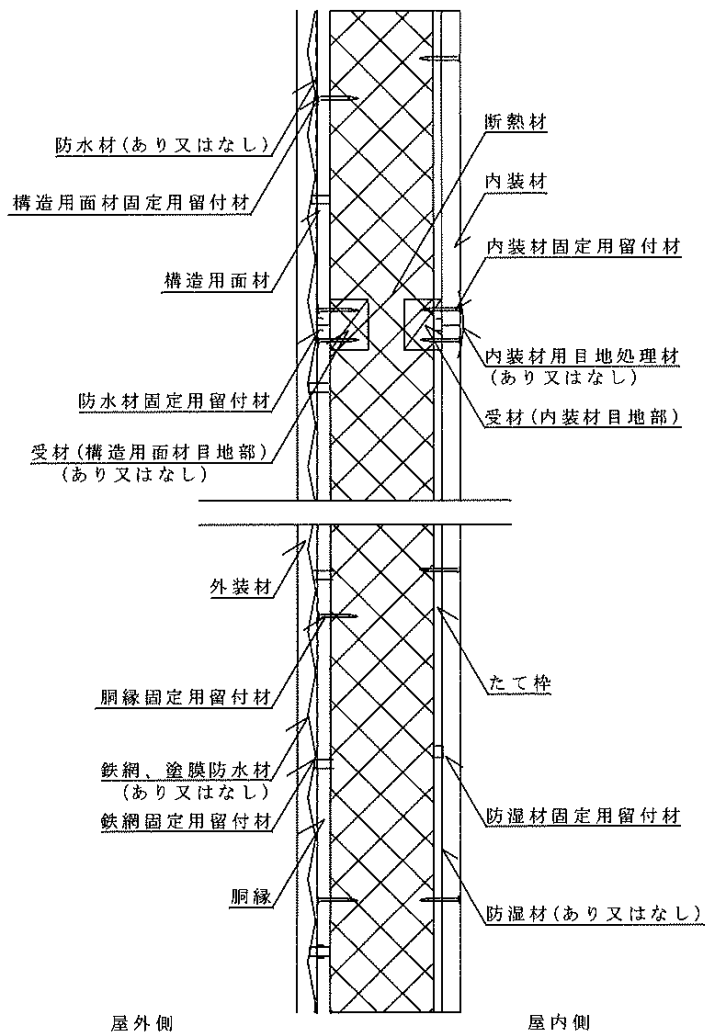
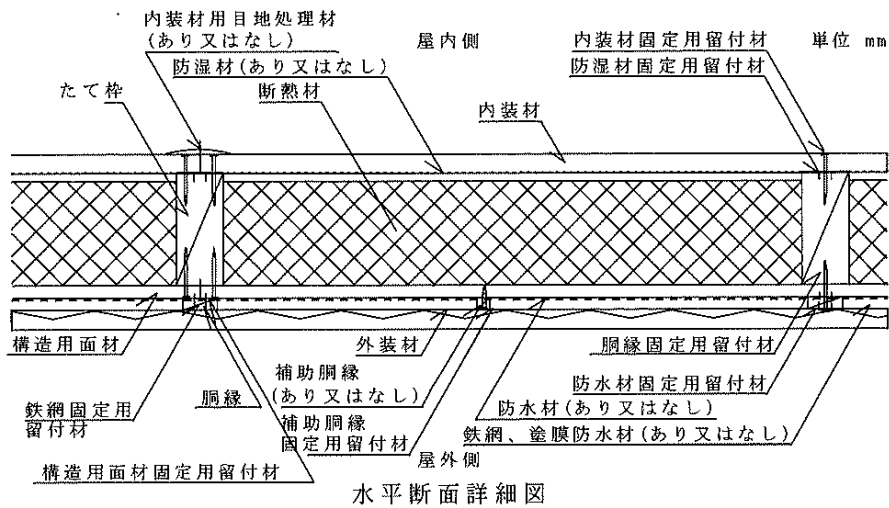


図3 構造説明図



鉛直断面詳細図
単層下地工法・通気層あり

図4 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図5及び図6に示す。図中の単位については、特記のない限りmmとする。

施工は、以下の手順で行う。

(1) 下地の取り付け

たて枠は反り曲がりのないものを使用し、土台に垂直に500mm以下の間隔で取り付ける。

(2) 構造用面材の取り付け

構造用面材を、構造用面材固定用留付材を用いて、たて枠の表面等に取り付ける。

(3) 防水材の張り付け(防水材を用いる場合)

防水材は横張り又は縦張りとし、重ね代は縦90mm以上、横150mm以上とする。張り付けは、防水材固定用留付材を用いて構造用面材の表面に張り付ける。左右の重ね位置は、上下で連続させない。防水材はできるだけたるみ、しわのないように取り付ける。

(4) 胴縁及び補助胴縁の取り付け(胴縁及び補助胴縁を用いる場合)

胴縁は、構造用面材を介して、胴縁固定用留付材を用いて、たて枠に取り付ける。補助胴縁は、必要に応じて構造用面材に、補助胴縁固定用留付材を用いて取り付ける。胴縁寸法で不陸のないように調整する。

(5) 外装材の施工

- ・軽量セメントモルタルと標準加水量をモルタルミキサーで混練りした後、コテ圧を充分にかけて下塗りする。
- ・上塗りモルタルはコテ圧を充分にかけ下塗りと合わせて規定塗り厚さ以上になるように塗付け、下塗りモルタルと良く密着させる。又、上塗りを行う際には下塗りモルタルの乾燥状態によって、水湿し又は吸水調整材(エマルジョン)の塗布を行う。上塗りモルタルの水引き具合を見てムラ直しを行う。
- ・耐アルカリ性グラスファイバーネットを伏せ込む場合は下塗りまたは上塗りの過程で伏せ込み、軽量セメントモルタルと馴染ませる。
- ・モルタル上塗り後の養生期間は、包装材に表示してある養生期間または、メーカーが指定する期間とする。
- ・施工方法および施工管理については、日本建築仕上材工業による施工マニュアルを参考とする。

(6) 断熱材の取り付け

断熱材をたて枠間の構造用面材に吹付ける。吹付ける際は、厚みのむらが生じないように吹付ける。吹付け後、必要に応じて整形を行う。

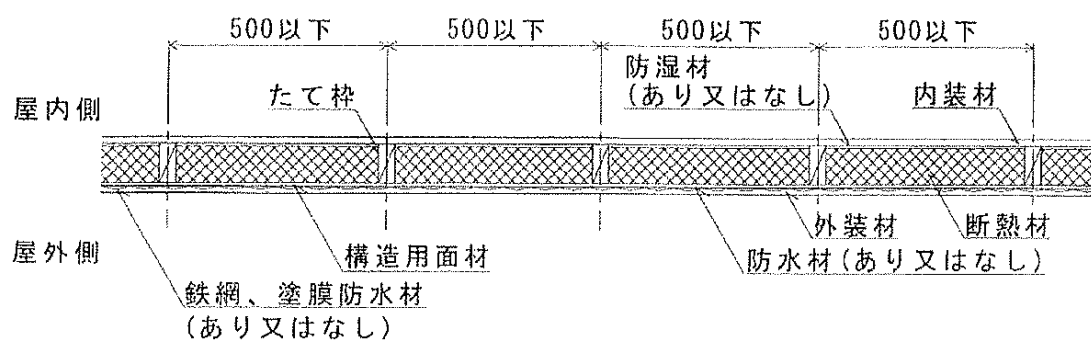
なお、施工については、ウレタンフォーム工業会の品質自主管理基準により管理する。

(7) 防湿材の張り付け(防湿材を用いる場合)

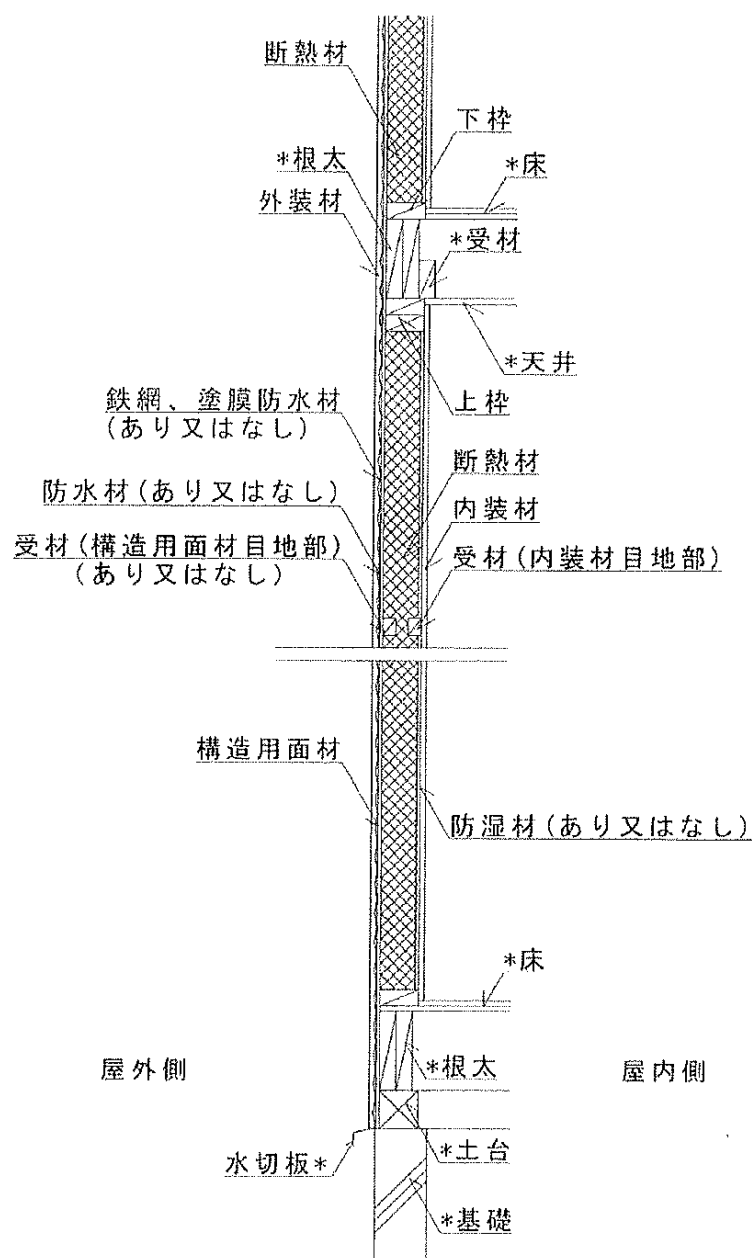
防湿材は横張り又は縦張りとし、上下又は左右の重ね代を30mm以上とする。張り付けは、防湿固定用留付材を用いて、たて枠及び受材に張り付ける。防湿材はできるだけたるみ、しわのないように取り付ける。

(8) 内装材の取り付け

内装材は、内装材固定用留付材を用いて、たて枠及び受材に留付ける。内装材目地部の受材は、たて方向を一枚で張る場合は不要とする。内装材の目地部には、必要に応じて所定の内装材用目地処理材を施す。



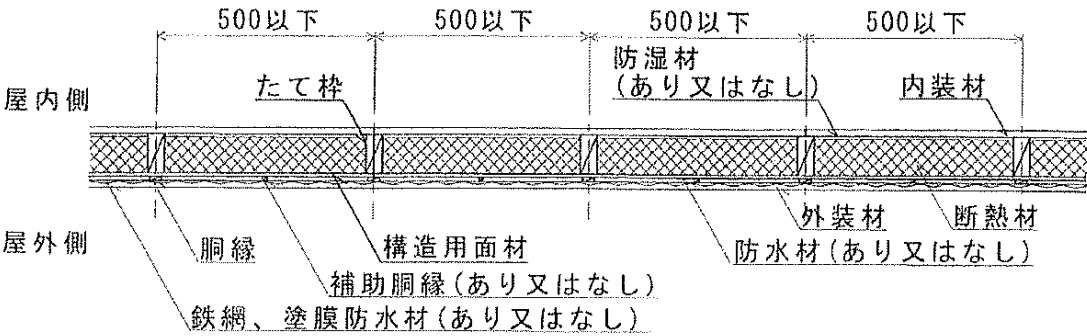
水平断面図



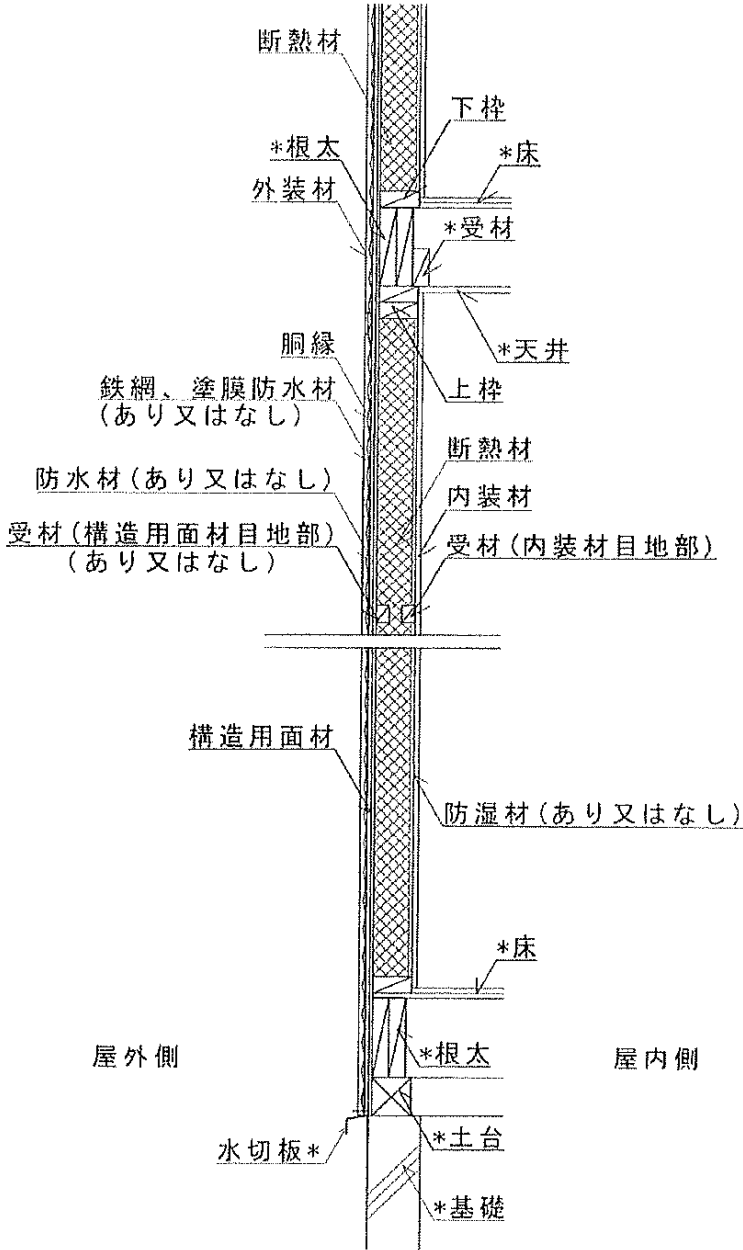
*評価対象外

鉛直断面図
直張工法・通気層なし

図5 施工図



水平断面図



鉛直断面図
単層下地工法・通気層あり

*評価対象外

図6 施工図